

シンポジウム “反射法地震探査及び地震波・弾性波速度解析に 基づく地殻の構造と物性”

シンポジウム世話人 (伊藤谷生・金川久一)

構造地質学研究会1995年冬の例会のなかで、シンポジウム“反射法地震探査及び地震波・弾性波速度解析に基づく地殻の構造と物性”が開催された(12月16日:千葉大学)。反射法地震探査は石油探査と深く結びついて発展したものであるが、陸上の地表地質調査では限界のある地下あるいは海底下の地質構造解析の広い分野にわたって画期的成果を挙げており、今や構造地質学にとって不可欠の手段となっている。本シンポジウムの第1の目的は、日本における反射法地震探査のホットな実例を紹介しつつ、複雑な地質構造と急峻な地形をもち、しかも人工的ノイズの多い日本列島における地震探査の今後の展開について議論を深めることであった。第2の目的は、地震波・弾性波速度解析に基づく地殻の地震波伝播特性に関する研究の現状と今後の方向を探ることであった。とりわけ、速度異方性と変形微細構造との関連について集中的に討議が期待された。このように地殻構造から微細構造スケールに至るまでの解析を、地震波・弾性波を用いる見地から検討するというユニークな企画に対して、末尾に示すように構造地質学ならびに地震学の広い分野から講演が行なわれ、活発な議論が続けられた。これらの講演はいずれも進行中の研究に基づくものであり、本誌編集の段階ではまだ論文として提出できないものも多かった。このため、本誌には4編のみの掲載となったが、近々、本誌もしくは他の学術誌に掲載されることを期待している。

プログラム

第1部：反射法地震探査に基づく地質構造・地殻構造解析

反射法地震探査と構造地質学	伊藤谷生 (千葉大学)・井川猛 (地球科学総合研究所)
反射法地震探査とアクティブテクトニクス	佐藤比呂志 (東京大学地震研)
地震波反射法による関東平野の地下構造	笠原啓司 (防災科学技術研究所)他
兵庫県南部地震震源周辺における反射法探査 (速報)	横倉隆伸 (地質調査所)他
Trans-Awaji Seismic Profiling (TASP) 速報	津村紀子 (千葉大学理)
反射法断面で見た日本海東縁の盆地反転構造	岡村行信 (地質調査所)
地震波探査記録からみた付加体の構造	芦寿一郎 (東京大学理)
地震探査による海洋における地殻構造の解明	高橋成実 (東京大学海洋研)

第2部：地震波・弾性波速度解析に基づく地殻の地震波伝播特性

地震波速度異方性	安藤雅孝 (京都大学防災研究所)
結晶格子選択配向に由来する地殻及び上部マントルの地震波速度異方性	竹下徹 (広島大学理)
畑川破碎帯花崗岩マイロナイトのP波速度異方性	松澤進一 (石油公団)他
岩石試料のインピーダンス実測値を用いた四国東部・中央構造線地下構造プロファイルの解釈	松澤進一 (石油公団)他
不均質媒質での地震波伝播モデル実験	西澤修 (地質調査所)

ポスター

小型油圧インパクトによる反射法地震探査—月吉断層を対象とした地下構造探査—	河村知徳 (千葉大学理)
---	--------------